

香川県の地震

令和8年（2026年）9月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和8年（2026年）10月7日）	・・・	2
--------------------	-----	---

地震一口メモ

令和8年11月5日（木）に緊急地震速報の訓練を行います	・・・	3
-----------------------------	-----	---

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

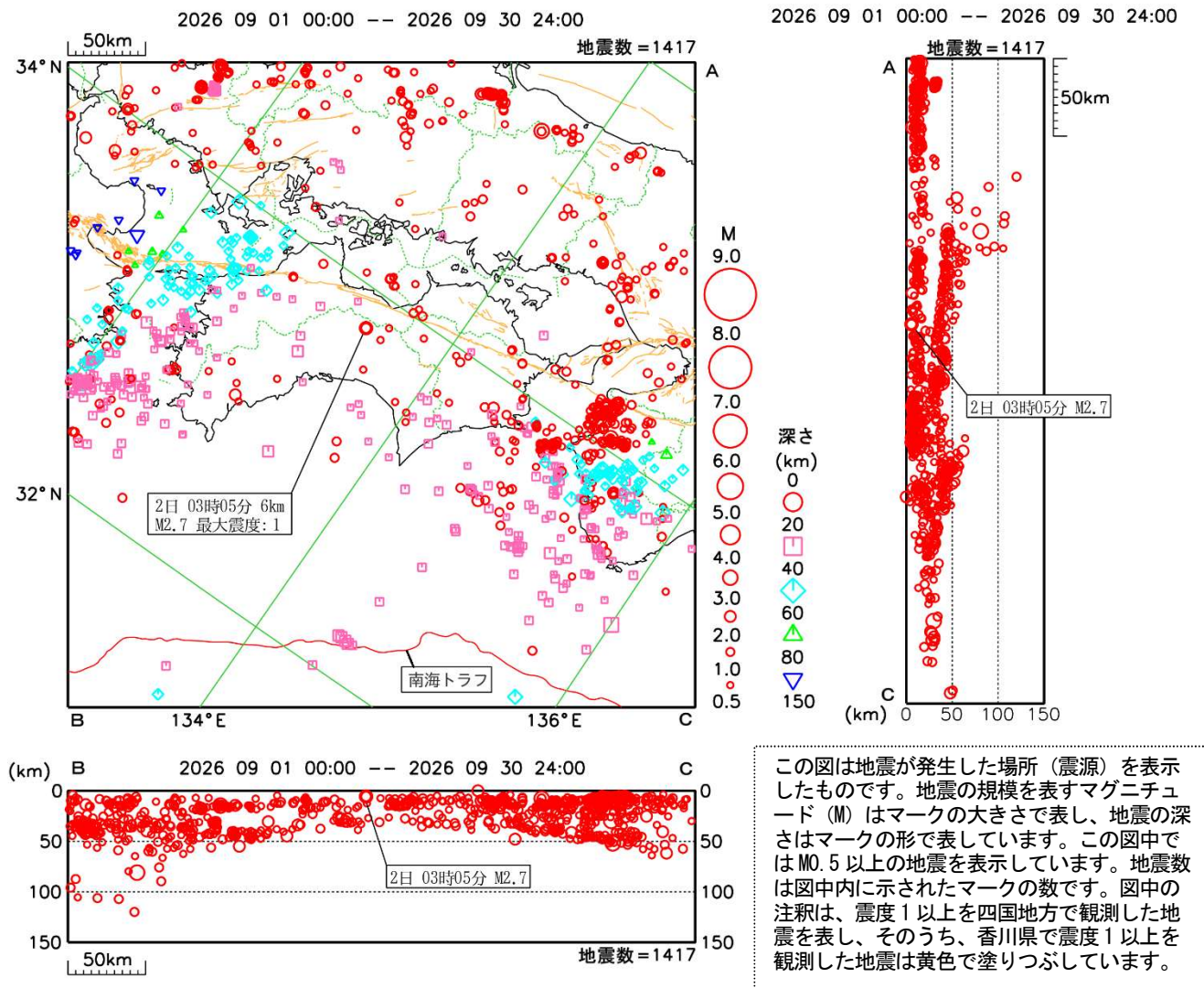
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2026 年 9 月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、ありませんでした（前月は0回）。

四国で震度1以上を観測した地震は、次の2回でした。

2日 03時05分 高知県中部の地震（深さ6km、M2.7）により、高知県土佐町で震度1を観測しました。

21日 22時38分 日向灘の地震（深さ36km、M4.8：震央分布図地図範囲外）により、愛媛県宇和島市・伊方町・西予市・愛南町、高知県宿毛市で震度2を観測したほか、愛媛県、高知県で震度1を観測しました。この地震では、大分県臼杵市・津久見市・佐伯市・豊後大野市、宮崎県延岡市・美郷町で震度3を観測したほか、中国・九州地方で震度2～1を観測しました。

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を毎月開催しています。

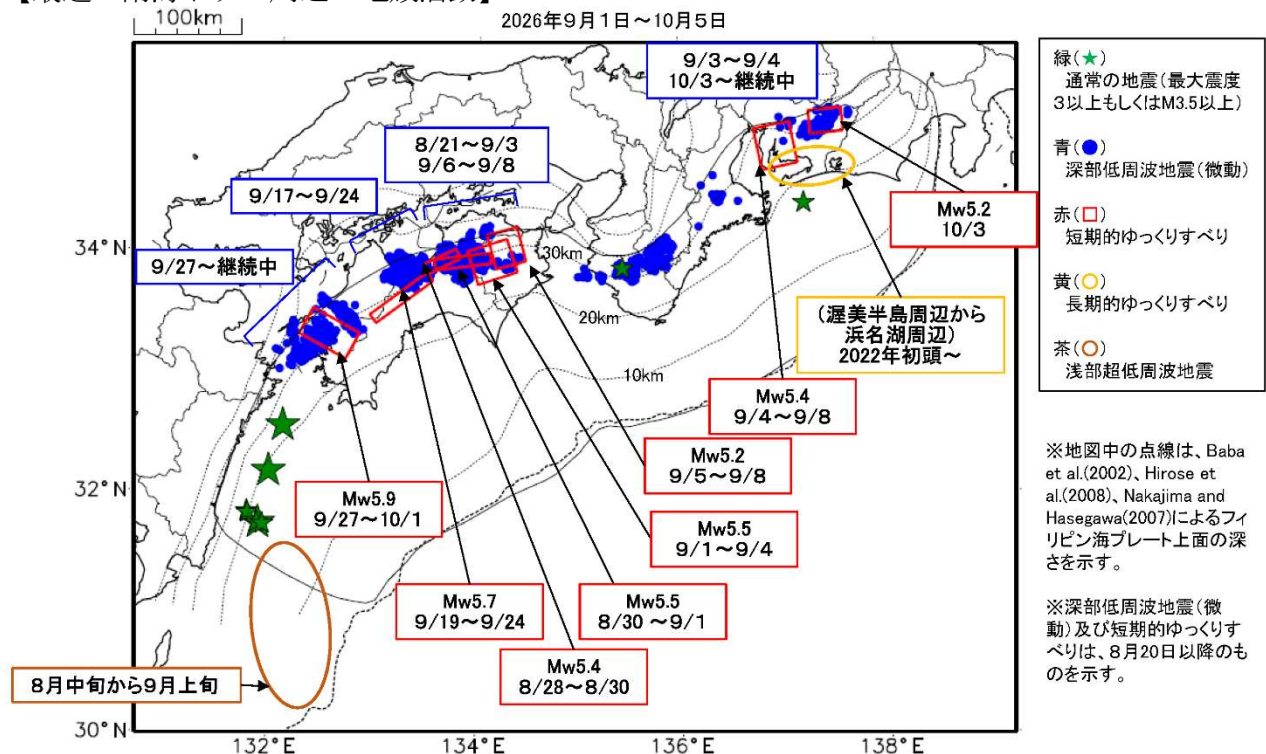
令和8年(2026年)10月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果（概要）】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時（注）と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....産業技術総合研究所の解析結果を示す。ただし、四国東部(9/5～9/8のMw5.2)と東海(9/4～9/8のMw5.4、10/3のMw5.2)の解析は、気象庁の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。
浅部超低周波地震.....防災科学技術研究所の解析結果を元に活動期間及びおおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)、浅部超低周波地震(茶○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2610/07b/nt20261007.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

令和8年11月5日（木）に緊急地震速報の訓練を行います

「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、令和8年11月5日（木）10時00分頃に、緊急地震速報の訓練を実施します。

緊急地震速報は、見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには、日頃からの訓練を通して実際に行動を取り、経験することが重要です。

このため、内閣府、消防庁及び気象庁では、緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するための全国的な訓練を、国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。自分の命を守るために、積極的に訓練へご参加ください。

○訓練の方法

訓練参加機関（国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等）が行う緊急地震速報の放送・報知にあわせて、安全な場所に移動するなどの身の安全を守る行動訓練を行ってください。携帯電話の緊急速報メール／エリアメールで訓練用の緊急地震速報が報知されることはありませんが、専用受信端末の訓練機能や気象庁が提供する訓練動画、スマートフォンの機能等を活用して避難行動をとる訓練を行うことができます。

○緊急地震速報を見聞きした場合の行動の具体例



家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす

緊急地震速報



上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。